



インターネットでの情報提供	
提供予定日	9月15日

平成22年9月14日(火) 県政記者クラブ・都道府県記者クラブ 同時配付資料			
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部情報産業課	情報産業担当	森 達哉	直通 058-272-8375 内線 3112

GIFU・iPhone プロジェクト1周年記念イベントを開催！ さらなる飛躍を目指します！

～GIFU・iPhone プロジェクト～

県では、ソフトピアジャパンを中心に展開している「GIFU・iPhoneプロジェクト」が1周年を迎えることを記念し、これまでの成果を振り返り、将来の夢を語り合う記念イベントを開催いたします。本プロジェクトにおいては、この1年間に様々なアプリケーションが生み出されているほか、人材や技術の集積が進むなどの成果を生んでおり、地域振興の先進事例として表彰を受けるなど、全国的にも注目が高まっております。県では、この1周年イベントを機に、プロジェクトを拡大し、さらなる飛躍に向けた取り組みを展開していきます。

記

1 「1周年記念イベント」について

ドリームコア コレクティブ
「DREAMCORE COLLECTIVE」の開設1周年を記念し、これまでの活動紹介、モバイル技術の最先端を語るトークセッションを行います。また、iPhoneプロジェクトの今後の方向性と新たなアプリの着想を得ることを目的として実施した「2020年のモバイルライフ アイデアコンテスト」に全国から応募があった400件以上のアイデアの中から、優秀作品として選定された5件の表彰式も行います。

- (1) 日 時 平成22年9月24日(金) 17:00～20:30
- (2) 場 所 ソフトピアジャパンドリームコア 2階 メッセ
- (3) 内 容 17:00～17:30 1年間の活動紹介
17:30～18:30 「2020年のモバイルライフ アイデアコンテスト」表彰式
- <審査委員>
- あかまつ まさゆき
赤松 正行 氏(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー 教授)
- かの まもる
鹿野 護 氏(ワウ株式会社 ビジュアル・アートディレクター)
- さたけ てるみ
佐竹 輝美 氏(株式会社デリカサイト スイテック事業部長)
- しま さとし
嶋 聡 氏(ソフトバンク株式会社 社長室長)
- もりかわ ゆきひと
森川 幸人 氏(株式会社 ムームー 代表取締役社長)
- 18:30～19:30 鹿野護×赤松正行トークセッション「未来の図画工作」
- 19:30～20:30 交流会
- (4) 定 員 100名(事前申し込みをされた方)
- (5) 参加費 無 料 交流会のみ会費2,000円(先着50名)
- (6) 参加方法 事前申込み(当日、現地での申込みも受け付けます(会場に余裕がある場合))

(申込方法)

住所、氏名、所属(勤務先、学校名等)、連絡先(電話番号及びメールアドレス)、交流会参加希望の有無を記載のうえ、メールにてお申し込みください。

(問い合わせ・申込み先)

ドリームコア・コレクティブ (<http://mobilecore.net/>)

住所：大垣市今宿 6-52-16 ソフトピアジャパン・ドリームコア 1F

TEL&FAX：0584-47-9510 E-mail：info@mobilecore.net

(7)その他 ・参加者には、DREAMCORE COLLECTIVEオリジナルのノベルティ「iPhoneスタンド」をプレゼント

・関連イベントとして、下記期間中、鹿野護氏のアート作品を展示

日 時：平成22年9月24日(金) 17:00~20:30

平成22年9月25日(土) 12:00~17:00

場 所：ソフトピアジャパンドリームコア 2階 会議室

2 GIFU・iPhone プロジェクトのこれまでの取り組み

GIFU・iPhone プロジェクトでは、これまで「iPhone 関連人材の集積と起業促進」、「iPhone を活用した地域振興の推進」を柱に事業を展開。

(1) 事業の状況

iPhone 関連人材の集積と起業促進

iPhone 塾の開講

- ・受講者のレベル、ニーズに応じた各種講座を開催。
- ・受講者が開発したアプリが配信され、ランクインしたほか、受講者3名が共同で起業し、iPhone フロアへ入居(名称：DAIZ.APPLICATION)
講座日数：174日開催、受講人数：のべ1,200人
県外参加率：約3割(東京、京都、滋賀、愛知等)

モバイルカフェの開催

- ・異業種、異分野の情報交流を通じ、より魅力的なアプリ開発と参加者間のネットワーク作りを行うための情報交換会として、毎週木曜日開催。
- ・製造業事業者とIAMAS関係者の交流からiPhone、iPad関連商品が続々と誕生。
- ・さらなる商品展開を図るため、iPhone、iPad関連商品勉強会「i・Labo」を設置。
開催回数：計35回、参加人数：のべ1,400人

iPhone フロアの設置

- ・iPhone アプリ開発等を主とする企業、個人等について、入居から3ヶ月間の家賃を免除し、開発人材の集積を促進
新規入居者数：5者(H22.8末)、手続き中：4者

iPhone を活用した地域振興の推進

- ・iPhone 及びセカイカメラ等のアプリを活用し、特に観光振興に寄与する取り組みを他事業、地域関係者と連携を図りながら積極的に推進。
(例)「iPhone おさんぽコース in 高山」、「関ヶ原史跡案内」、「あじな岐阜遊歩祭2010」、「ぎふっこカード参加店舗の情報提供」

(2) 外部の評価等

- ・これまでに、施設見学、体験等で県内外から約1,000名が来場し、先進的、独創的な取り組みとして高く評価。
- ・全国知事会が主催する第3回先進政策創造会議(平成22年9月8日開催)において、都道府県から登録された約2,200件の政策の中から、本プロジェクトが優秀政策事例に選定(受賞数:25件)

3 さらなる飛躍に向けた今後の展開

これまで実施してきた取り組みをステップアップし、ソフトピアジャパンエリアを全国でも最先端のスマートフォン関連情報の発信、集積、活用拠点にすべく、プロジェクトの更なる展開を図る。

(1) アプリ開発の成果を地域振興・産業振興へ!

視覚情報提供の新技术「PITシステム」を活かした地域振興事業の展開

I A M A S 在学生在が起業し、ソフトピアジャパンドリームコアを拠点に活動するベンチャー「GOCCO.」(ゴッコ)が開発したiPhoneによる視覚情報提供新技术「PITシステム」(特許出願中)の活用に向けた実証実験を実施。観光施設、文化施設等で多数の需要が見込まれる同システムの、利便性、商品力向上を図ることで、全国展開を促進。

岐阜県を起点とした「セカイカメラ」の新たな活用

- ・首都圏において、岐阜県ゆかりの地などを中心としたスタンプラリー等を開催し、全国に向け岐阜県の情報を発信することで誘客を促進。(観光・ブランド振興課、岐阜県東京事務所)
- ・県施策と連携し、施策の全国的PRと県来訪者及び県内利用者の利便性向上を図るための情報を提供。
ぎふ清流国体・ぎふ清流大会(「ミナモのエアタグ」) 詳細は別途配布資料参照
子育て支援事業(「ぎふっこカードのエアタグ」、約3,500件)
- ・県内地域への若者集客及び実店舗での商品販売向上という経済効果を目指し、セカイカメラの拡張現実ロールプレイングゲーム「セカイユウシャ」と飛騨高山での実店舗との連動企画を頓智・(株)と検討中。

iPhone、iPad、Android等の製造業現場等での活用

首都圏等におけるスマートフォンのビジネス、医療分野での導入需要が増加している状況を視野に入れ、中小製造業が多数存在するこの地域ならではの取り組みとして、製造業現場等でのスマートフォン活用を促進。中小製造業の製造効率、経営効率改善を図るとともに、地元IT企業の次世代技術革新に向けた新規事業展開の促進を活性化。

(2) 交流を拡大、そして創造へ!

iPhone「岐阜県アプリ」の開発、配信

緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し、全国から優秀な人材の集積を図り、岐阜県の観光、県産品情報の提供と販売促進に寄与する、全国初の自治体版アプリを開発、配信。

モノづくり分野の自社商品開発支援

高い技術力を持つ県内の製造業事業者、デザイン力、創造力に優れたI A M A S関係者という、この地域独自の強みを活かした交流をiPhone、iPad関連商品勉強会「i・Labo」を通じて更に促進。アプリだけにとどまらない、モノづくり分野における自社商品開発、販売による経営基盤安定を支援。

ソフトピア宿泊交流空間「ソピア・キャビン」での宿泊型研修等の開催

ソフトピア宿泊交流空間「ソピア・キャビン」を活用した宿泊型の研修、イベント等を開催。県内だけでなく、全国からスマートフォン関連人材が常に集まることのできる環境を整備し、交流人口を拡大。

(3) iPhone からスマートフォンへ!

スマートフォン・プロジェクトの展開

iPhone で活況を呈する地の利を得て、通信事業者、メーカー等からの自主的な協力により、全国で唯一の「Android」、「Windows Phone」の先端的なセミナー、勉強会を開催。

iPhone のみならず、スマートフォン全般の最新情報・技術を全国に先駆けて習得できる岐阜県ならではの環境及びコミュニティを構築。